

ディプロマ・ポリシー

CP2-3
建築・デザインが作り出す「空間」や「モノ」は、デザインする人、それを実際に作る人、そして使う人など多様な人々との協働はとて重要である。3年次に各研究室に所属し各研究室のテーマに沿って学生たちがグループを組み協働で研究・制作を行う「ゼミナール」を必修として配置する。さらに、卒業年次のアセスメント科目として、専門教育科目を中心とする教育内容を統合・深化させ、専門性を活用する力を身に付けるため、4年間の集大成として研究成果・制作作品をまとめ、成果発表までを行う「卒業論文・制作I・II」を必修とする。

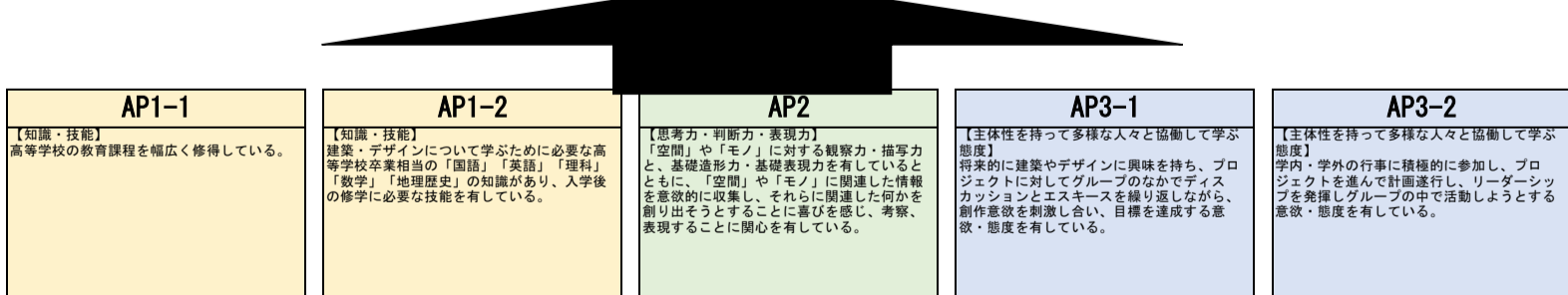
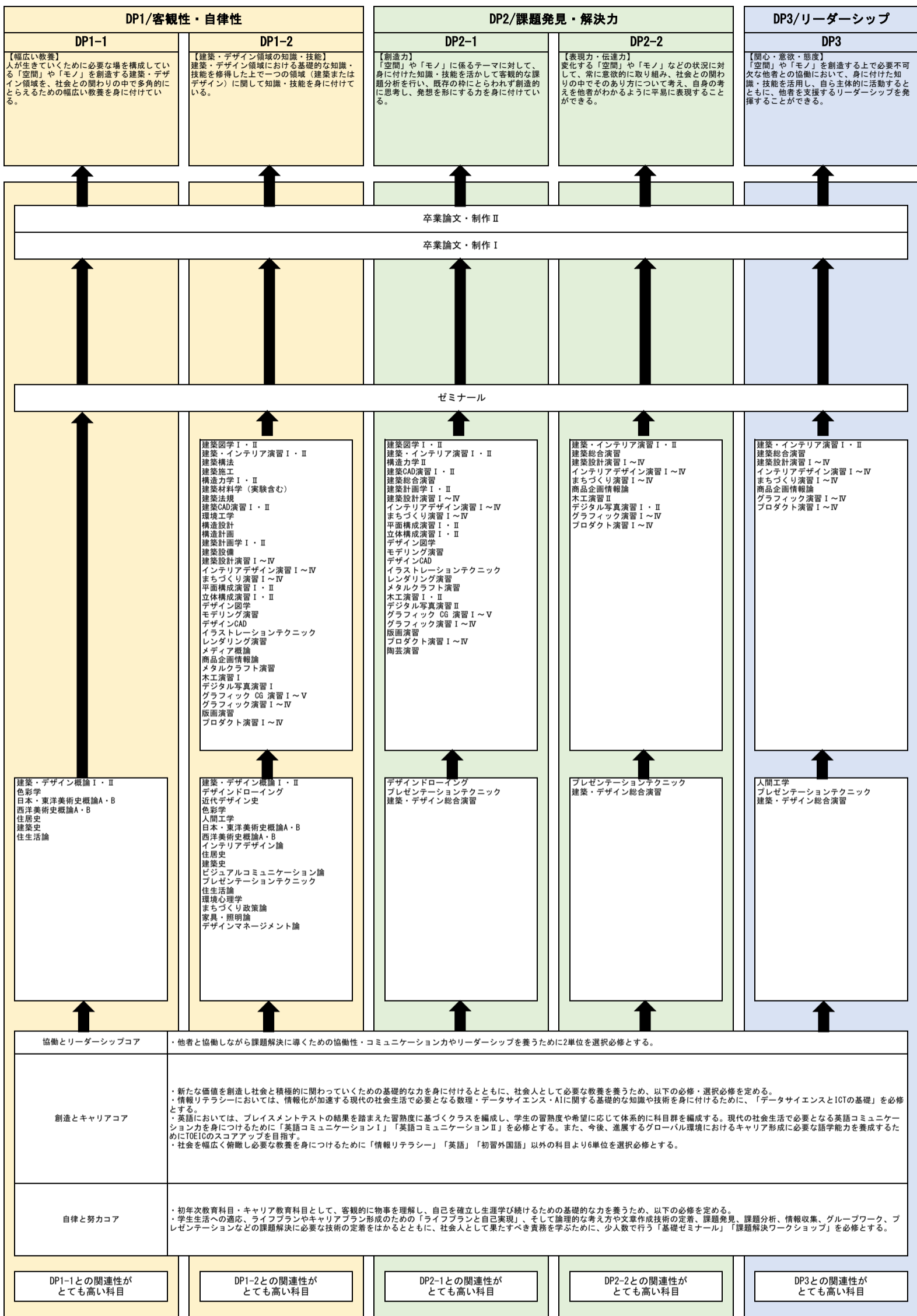
CP2-2
建築・デザインの専門分野をより深く理解し学ぶために、「建築領域」に「建築分野」「インテリア分野」「まちづくり分野」を、「デザイン領域」に「グラフィック分野」「プロダクト分野」を設け、主として学びを深めていくための授業科目を配置する。各分野における深い知識や応用力を身に付けるための授業科目を体系的に配置する。

CP2-1
建築・デザインの基礎・基本について事例などに学ぶ「建築・デザイン概論I・II」と、美術分野共通の基礎となるデザイン力を養う「デザインドローイング」を1年次の必修に、自身の考えを他者に対して理解させる方法を学ぶ「プレゼンテーションテクニック」を2年次の必修に配置する。さらに、建築コースとデザインコースの学生混合のチームで、専門的な知識・技能を、実際に想定した場面で活用できるように、課題解決型授業（Project Based Learning、以下PBL）形式で、建築とデザインを総合的に学ぶ「建築・デザイン総合演習」を3年次の必修に配置する。

CP1
学生を、ひとりの女性・ひとりの人間として自律できる人材、すなわち日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加・貢献して責任ある役割を果たす人材として育成するために設けられた「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップ」の必修・選択必修を以下のように定める。

カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー



*各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。